

保健・福祉等実態調査・ニーズ調査(案) 比較表(重複項目早見表 ※ニーズ調査のみで行う虚弱判定項目は除く)

資料 2 - 1

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
ご自身やご家族等住環境等に生活状況について	この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。	—	—	問1	1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他	表紙裏面	1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄_____) 3. その他
	あなたの性別をお答えください。	問1	1. 男性 2. 女性	問2	1. 男性 2. 女性		記入欄あり
	あなたの年齢をお答えください。	問2	1. 40~44歳 2. 45~49歳 3. 50~54歳 4. 55~59歳 5. 60~64歳	問3	1. 65歳未満 2. 65~69歳 3. 70~74歳 4. 75~79歳 5. 80~84歳 6. 85歳以上		
	あなたの現在の状況をお答えください。	—	—	問4	1. 自宅で生活している 2. 病院・診療所に入院中である 3. 福祉施設等に入所中である 4. その他()	—	—
	あなたの家族構成をお答えください。	問3	1. 単身(一人暮らし)世帯 2. あなたと配偶者のみの世帯(夫婦世帯) 3. あなた(と配偶者)と子の二世帯世帯 4. あなた(と配偶者)と親の二世帯世帯 5. あなた(と配偶者)と親と子の三世帯世帯 6. あなた(と配偶者)と子の孫の三世帯世帯 7. その他()	問5	1. 単身(一人暮らし)世帯 2. あなたと配偶者のみの世帯(夫婦世帯) 3. あなた(と配偶者)と子の二世帯世帯 4. あなた(と配偶者)と親の二世帯世帯 5. あなた(と配偶者)と親と子の三世帯世帯 6. あなた(と配偶者)と子の孫の三世帯世帯 7. その他()	問1(1)	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他
	※2人以上でお暮らしの方におたずねします あなたの世帯には65歳以上の方はいらっしゃいますか。	問4	1. 65歳以上の家族・同居人がいる 2. 65歳以上の家族・同居人はいない	問6	1. 65歳以上の家族・同居人がいる 2. 65歳以上の家族・同居人はいない	—	—
	あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	問5	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	問13	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	問1(3)	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある
	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。	問6	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家 7. その他	問14	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家 7. その他	問1(4)	1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家 7. その他
	現在のお住まいで不便を感じていることや、困っていることがありましたら教えてください。	—	—	問15	1. 手すりがない 2. トイレやお風呂が居室から離れている 3. 住宅が老朽化している 4. 階段が急である 5. 段差がある 6. 廊下が狭くて車いすが使えない 7. 部屋が狭いなどの理由により、ベッドが使えない 8. エレベーターがない 9. その他() 10. 困っている点はない	—	—
	あなたは日中や夜間、一人になることがありますか。 (日中、夜間それぞれ1つに○)	—	—	問7	日中(1. よくある 2. たまにある 3. ほとんどない) 夜間(1. よくある 2. たまにある 3. ほとんどない)	—	—
	あなたの要介護(支援)状態区分は、次のうちどれですか。	—	—	問8	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない	表紙裏面	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 事業対象者(基本チェックリストで判定を受けた方) 4. 介護認定を受けていない
	1年前の介護度は、次のうちどれでしたか。	—	—	問9	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない	—	—
	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか	—	—	問10	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 視覚障害 10. 聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他() 15. 不明	問1(2)①	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 視覚障害 10. 聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他() 15. 不明

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
ご自身やご家族・住環境等について生活状況について	主にどなたの介護・介助を受けていますか。	—	—	問11	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他()	問1 (2)②	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他()
	※介護ヘルパー、その他以外で回答された方その方の性別を教えてください。	—	—	問12-1	1. 男性 2. 女性	—	—
	その方の年齢は次のどれですか。	—	—	問12-2	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上 9. わからない	—	—
	その方からの介護は、週にどれくらいありますか。	—	—	問12-3	1. 週に1日より少ない 2. 週に1~2日ある 3. 週に3~4日ある 4. ほぼ毎日ある	—	—
	その方からどのような介護を受けていますか。	—	—	問12-4	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症への対応 11. 医療面での対応(経管栄養・ストーマ等) 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除・洗濯・買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き 15. その他() 16. わからない	—	—
健康について	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	問7	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	問16	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	問7(1)	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	問8	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他()	問21	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他()	問7(7)	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他()
	※「ない」とお答えした人以外(通院している方のみ)通院の頻度は次のどれですか。	—	—	問22-1	1. 週1回以上 2. 月2回から3回 3. 月1回程度 4. 2か月に1回程度 5. 3か月に1回程度 6. それ以上の間隔または不定期	—	—
	(通院している方のみ)通院に介助が必要ですか。	—	—	問22-2	1. 必要である 2. 必要ない	—	—
	お酒は飲みますか。	問9	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	問19	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	問7(5)	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
	タバコは吸っていますか。	問10	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	問20	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	問7(6)	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	問11	1. はい 2. いいえ	問17	1. はい 2. いいえ	問7(3)	1. はい 2. いいえ
	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	問12	1. はい 2. いいえ	問18	1. はい 2. いいえ	問7(4)	1. はい 2. いいえ
	あなたが普段、健康を維持するために行っていることは何ですか。	問13	1. できるだけ身体を動かす 2. できるだけ頭をつかう 3. 食事など、栄養のバランスに気をつける 4. 規則正しい生活をする 5. 睡眠を十分とる 6. 定期的に医師の判断を受ける(健康診断等) 7. 歯の管理を大切にしている(歯科検診等) 8. あてはまるものはない	—	—	—	—

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
健康について	あなたは、ご自身の生活習慣(食事・運動など)についてどのように考えていますか。	問14	1. 生活習慣に特に問題があるとは思わない 2. 生活習慣の改善が必要だとは思うが、生活習慣を変えようとは思わない 3. 生活習慣の改善が必要だとは思うが、生活習慣を変えることができない 4. 生活習慣の改善が必要だと思ひ、1か月以内に具体的に組みたいと考えている 5. 生活習慣の改善が必要だと思ひ、すでに取り組み・行動を始めている 6. 自分の生活習慣については関心がない	—	—	—	—
	ご自身の健康維持等のために知りたい情報はありますか。	問15	1. がんや生活習慣病などの予防 2. メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について 3. 望ましい食生活 4. 運動・スポーツの方法 5. 健(検)診の内容や受け方について 6. 寝たきりの予防 7. 認知症の予防 8. 歯の健康(口の中の健康) 9. こころの健康(ストレス・不眠など) 10. その他() 11. 特になし	—	—	—	—
	あなたは、現在、訪問診療を受けていますか。	—	—	問23	1. 利用している 2. 利用していない	—	—
外出について	週に1回以上は外出していますか。	問16	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	問24	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	問2(6)	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	問17	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	問25	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	問2(7)	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
	※「とても減っている・減っている」と回答された方におたずねします 外出が減っている理由を教えてください。 (ニーズ調査は、外出を控えている理由)	問18	1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他	問26	1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他	問2(8)①	1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他
	外出する際の移動手段は何ですか。	問19	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()	問27	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()	問2(8)②	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()
	あなたは過去1年間に転んだ経験がありますか。	—	—	問28	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	問2(4)	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
	※「何度もある、1度ある」と回答された方におたずねします 転倒した場所はどこですか。	—	—	問29-1	1. 居室 2. 食堂・台所 3. 浴室・洗面所 4. トイレ 5. 階段 6. 玄関 7. 廊下 8. 庭・外回り 9. その他()	—	—
	転倒に対する不安は大きいですか。	—	—	問29-2	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安ではない 4. 不安でない	問2(5)	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安ではない 4. 不安でない

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
たすけあいについて	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。	問20	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	問30	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	問6(1)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。	問21	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	問31	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない	問6(2)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない
	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	問22	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他() 7. そのような人はいない	問35	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他() 7. そのような人はいない	問6(5)	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他() 7. そのような人はいない
	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	問23	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	問32	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	問6(6)	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。	問24	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない	問33	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない	問6(8)	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない
	あなたは、ご近所の人との程度のお付き合いをされていますか。	—	—	問34	1. どんなどきでも相談し合える人がいる 2. 内容によって相談し助け合える人がいる 3. 世間話をする程度の人はいる 4. あいさつをする程度の人はいる 5. ほとんど近所付き合いはない	—	1. どんなどきでも相談し合える人がいる 2. 内容によって相談し助け合える人がいる 3. 世間話をする程度の人はいる 4. あいさつをする程度の人はいる 5. ほとんど近所付き合いはない

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40～64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
地域での活動について	以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。※①～⑧それぞれに回答してください。 ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ ④ 学習・教養サークル ⑤ 通いの場(いもっこ体操などの体操やサロンなどの集いの場) ⑥ 収入のある仕事 ⑦ 町内会・自治会 ⑧ 老人クラブ	問25	①から⑧について、それぞれ1から6で選択 週4回以上・・・1 週2～3回・・・2 週1回・・・3 月1～3回・・・4 年に数回・・・5 参加していない・・・6	問36	①から⑧について、それぞれ1から6で選択 週4回以上・・・1 週2～3回・・・2 週1回・・・3 月1～3回・・・4 年に数回・・・5 参加していない・・・6		①から⑧について、それぞれ1から6で選択 週4回以上・・・1 週2～3回・・・2 週1回・・・3 月1～3回・・・4 年に数回・・・5 参加していない・・・6
	※問25において、「⑥収入のある仕事」を除く①～⑧のいずれかの活動をされている方におたずねします 活動へ参加し始めた時期はいつ頃ですか。	問26	1. 40代より以前 2. 40代 3. 50代 4. 60～64歳 5. 65～74歳 6. 75歳以上 7. わからない	—	—		1. 40代より以前 2. 40代 3. 50代 4. 60～64歳 5. 65～74歳 6. 75歳以上 7. わからない
	※問25において、「⑥収入のある仕事」を除く①～⑧のいずれかの活動をされている方におたずねします 活動に参加することになったきっかけを教えてください。	問27	1. 友人・仲間のすすめ 2. 家族のすすめ 3. 市の広報やホームページ等の情報 4. 活動団体からの呼びかけ 5. 活動団体のポスター・チラシ等 6. 自治会・町内会の誘い 7. 個人の意思 8. 自分で立ち上げた 9. その他()	—	—		1. 友人・仲間のすすめ 2. 家族のすすめ 3. 市の広報やホームページ等の情報 4. 活動団体からの呼びかけ 5. 活動団体のポスター・チラシ等 6. 自治会・町内会の誘い 7. 個人の意思 8. 自分で立ち上げた 9. その他()
	※問25において、「⑥収入のある仕事」を除く①～⑧のいずれかの活動をされている方におたずねします 活動に参加するようになって生活面やからだに変化はありましたか。	問28	1. 日常生活にリズムができた 2. 日常生活にハリができた 3. からだを動かす機会が増えた 4. 人と話す(関わる)機会が増えた 5. 健康に気を遣うようになった 6. 身だしなみ(おしゃれ)に気を遣うようになった 7. 新しい友人・知人を得ることができた 8. 特に変化はない 9. その他()	—	—		1. 日常生活にリズムができた 2. 日常生活にハリができた 3. からだを動かす機会が増えた 4. 人と話す(関わる)機会が増えた 5. 健康に気を遣うようになった 6. 身だしなみ(おしゃれ)に気を遣うようになった 7. 新しい友人・知人を得ることができた 8. 特に変化はない 9. その他()
	※すべての項目を6「参加していない」と回答された方におたずねします 活動に参加していない理由を教えてください。	問29	1. 仕事などが忙しく、時間がとれない 2. 健康上の理由、体力に自信がない 3. 時間があれば休養などにあてたい 4. 参加したいと思う活動がない 5. 一緒にやる仲間が見つからない 6. 団体活動はわずらわしい 7. どんな団体や活動があるのか知らない 8. 職場などでサークル活動に参加している 9. 地域の活動には関心がない 10. 経済的余裕がない 11. その他() 12. 特に理由はない	—	—		1. 仕事などが忙しく、時間がとれない 2. 健康上の理由、体力に自信がない 3. 時間があれば休養などにあてたい 4. 参加したいと思う活動がない 5. 一緒にやる仲間が見つからない 6. 団体活動はわずらわしい 7. どんな団体や活動があるのか知らない 8. 職場などでサークル活動に参加している 9. 地域の活動には関心がない 10. 経済的余裕がない 11. その他() 12. 特に理由はない
	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	問30	1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない	問37	1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない		1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。	問31	1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない	問38	1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない		1. すでに参加している 2. 是非参加したい 3. 参加してもよい 4. 参加したくない	

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域二一ズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
生きがいについて	あなたは、日常生活を送る中で「生きがい」を感じていますか。	問32	1. 常に感じている 2. ときどき感じている 3. あまり感じていない 4. ほとんど感じていない	問39	1. 常に感じている 2. ときどき感じている 3. あまり感じていない 4. ほとんど感じていない		1. 常に感じている 2. ときどき感じている 3. あまり感じていない 4. ほとんど感じていない
	※「常に感じている、ときどき感じている」と回答された方におたずねします あなたが、「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。	問33	1. 働くこと(自営・家事等を含む) 2. 家族の世話や介護 3. ご近所や友達とのつきあい 4. スポーツ・レクリエーション 5. 趣味の活動(学習等を含む) 6. 自治会・町内会の活動 7. 老人クラブの活動 8. ボランティア活動 9. おしゃれや服装のこと 10. 家族との団らん 11. テレビやラジオの視聴 12. 旅行や買い物などの外出 13. その他()	問40	1. 働くこと(自営・家事等を含む) 2. 家族の世話や介護 3. ご近所や友達とのつきあい 4. スポーツ・レクリエーション 5. 趣味の活動(学習等を含む) 6. 自治会・町内会の活動 7. 老人クラブの活動 8. ボランティア活動 9. おしゃれや服装のこと 10. 家族との団らん 11. テレビやラジオの視聴 12. 旅行や買い物などの外出 13. その他()		1. 働くこと(自営・家事等を含む) 2. 家族の世話や介護 3. ご近所や友達とのつきあい 4. スポーツ・レクリエーション 5. 趣味の活動(学習等を含む) 6. 自治会・町内会の活動 7. 老人クラブの活動 8. ボランティア活動 9. おしゃれや服装のこと 10. 家族との団らん 11. テレビやラジオの視聴 12. 旅行や買い物などの外出 13. その他()
介護予防について	あなたは、寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。	問34	1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない	—	—		1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない
	※「取り組んでいない」と回答された方におたずねします あなたが介護予防に取り組んでいない理由を教えてください。	問35	1. 健康状態が良いため 2. 体力が落ちてきてから取り組みたい 3. もう少し歳をとってから取り組みたい 4. きっかけがあれば取り組みたい 5. 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない 6. 興味・関心がない 7. その他()	—	—		1. 健康状態が良いため 2. 体力が落ちてきてから取り組みたい 3. もう少し歳をとってから取り組みたい 4. きっかけがあれば取り組みたい 5. 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない 6. 興味・関心がない 7. その他()
	今後、介護予防に取り組むとしたら、どのようなことに興味がありますか。すでに取り組んでいる方については、新たに組みたい事項を教えてください。	問36	1. 自宅で気軽にできる運動や健康づくり 2. 地域の集いの場への参加や体操グループへの参加 3. 転倒予防のための運動 4. トレーニングマシンを使った運動 5. バランスのよい食事をとるための栄養に関する講座への参加 6. 自分で食事を続けられるよう、口や歯の手入れに関する講座や教室への参加 7. 認知症をテーマにした講演会への参加 8. 介護予防をテーマにした講演会への参加 9. 支援を必要としている方や介護施設などへのボランティア活動 10. その他()	—	—		1. 自宅で気軽にできる運動や健康づくり 2. 地域の集いの場への参加や体操グループへの参加 3. 転倒予防のための運動 4. トレーニングマシンを使った運動 5. バランスのよい食事をとるための栄養に関する講座への参加 6. 自分で食事を続けられるよう、口や歯の手入れに関する講座や教室への参加 7. 認知症をテーマにした講演会への参加 8. 介護予防をテーマにした講演会への参加 9. 支援を必要としている方や介護施設などへのボランティア活動 10. その他()
介護サービスについて	あなたは、現在、介護サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)を利用していますか。	—	—	問41	1. 利用している 2. 利用していない	—	—
	※「利用していない」と回答された方におたずねします あなたが介護サービスを利用していない理由は何ですか。	—	—	問42	1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. (本人に)サービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない 9. その他()	—	—
	※「利用している」と回答された方におたずねします 現在利用している在宅サービスの満足度についてご回答ください。なお、お使いのサービスがご不明な場合は、お手元の契約書をご覧ください。 (1)から(14)それぞれ1つに○	—	—	問43	(1)から(14)についてそれぞれ次の1から6を選択 とても満足…1 満足…2 普通…3 やや不満…4 とても不満…5 利用していない…6 (1)ケアプラン (2)ホームヘルプサービス(訪問介護) (3)定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (4)訪問入浴 (5)訪問看護 (6)訪問リハビリテーション (7)居宅療養管理指導 (8)小規模多機能型居宅介護 (9)看護小規模多機能型居宅介護 (10)デイサービス(通所介護、地域密着型・認知症対応型含む) (11)デイケア(通所リハビリテーション) (12)ショートステイ(短期入所、短期療養) (13)福祉用具貸与・購入 (14)住宅改修	—	—
	あなた、またはご家族の意向が、ケアプランに反映されていると思いますか。	—	—	問44	1. 反映されている 2. おおむね反映されている 3. あまり反映されていない 4. 反映されていない 5. どちらとも言えない	—	—

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40～64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
認知症について	あなたは認知症に関する次の内容を知っていますか。	問37	1. 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある 2. 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる 3. 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えている 4. 環境の変化への対応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である 5. 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である	問45	1. 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある 2. 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる 3. 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えている 4. 環境の変化への対応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である 5. 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である		1. 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある 2. 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる 3. 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えている 4. 環境の変化への対応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切である 5. 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である
	川越市が行っている認知症施策について、より充実させたほうがよいと思うものは次のうちどれですか。	問38	1. 認知症予防教室 2. 家族介護教室 3. 認知症相談(会) 4. 防災行政無線による徘徊高齢者の探索 5. お帰り安心ステッカー 6. 認知症サポーター養成講座 7. 認知症初期集中支援チーム 8. 認知症の方やその家族等、誰もが集える場(オレンジカフェ)	問46	1. 認知症予防教室 2. 家族介護教室 3. 認知症相談(会) 4. 防災行政無線による徘徊高齢者の探索 5. お帰り安心ステッカー 6. 認知症サポーター養成講座 7. 認知症初期集中支援チーム 8. 認知症の方やその家族等、誰もが集える場(オレンジカフェ)		1. 認知症予防教室 2. 家族介護教室 3. 認知症相談(会) 4. 防災行政無線による徘徊高齢者の探索 5. お帰り安心ステッカー 6. 認知症サポーター養成講座 7. 認知症初期集中支援チーム 8. 認知症の方やその家族等、誰もが集える場(オレンジカフェ)
	今後、あなたやあなたの家族が「認知症かな」と感じた時には、誰に相談しますか。	問39	1. 家族 2. かかりつけ医またはサポート医 3. 脳神経外科内科・精神科・メンタルクリニック 4. 市役所相談窓口 5. 地域包括支援センター 6. 認知症疾患医療センター 7. 友人 8. 認知症を介護したことがある知人 9. 認知症の人の家族の会 10. わからない 11. その他()	—	—		1. 家族 2. かかりつけ医またはサポート医 3. 脳神経外科内科・精神科・メンタルクリニック 4. 市役所相談窓口 5. 地域包括支援センター 6. 認知症疾患医療センター 7. 友人 8. 認知症を介護したことがある知人 9. 認知症の人の家族の会 10. わからない 11. その他()
	あなたやあなたの家族が認知症になったら、どんなことに不安を感じるとお思いますか。	問40	1. 自由に出かけられなくなる 2. 収入面 3. 金銭管理が難しくなる 4. 意思伝達が難しくなる 5. 家事が難しくなる 6. 友人・知人との交流の減少 7. 家に1人で帰れなくなる可能性がある 8. 地域の理解が得られない 9. その他()	—	—		1. 自由に出かけられなくなる 2. 収入面 3. 金銭管理が難しくなる 4. 意思伝達が難しくなる 5. 家事が難しくなる 6. 友人・知人との交流の減少 7. 家に1人で帰れなくなる可能性がある 8. 地域の理解が得られない 9. その他()
	認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域を作っていくために必要であると思うことはなんですか。	問41	1. 認知症の早期診断 2. 認知症の発症予防 3. 認知症に関する相談窓口 4. 認知症によって帰宅ができなくなってしまう方の早期発見・保護などの地域での見守り体制の整備 5. 認知症の人の生きがい支援 6. 認知症への理解を深めるための講座・研修会 7. 認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう認知症カフェの設置 8. 若年性認知症(65歳未満で認知症を発症)への支援	問47	1. 認知症の早期診断 2. 認知症の発症予防 3. 認知症に関する相談窓口 4. 認知症によって帰宅ができなくなってしまう方の早期発見・保護などの地域での見守り体制の整備 5. 認知症の人の生きがい支援 6. 認知症への理解を深めるための講座・研修会 7. 認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう認知症カフェの設置 8. 若年性認知症(65歳未満で認知症を発症)への支援		1. 認知症の早期診断 2. 認知症の発症予防 3. 認知症に関する相談窓口 4. 認知症によって帰宅ができなくなってしまう方の早期発見・保護などの地域での見守り体制の整備 5. 認知症の人の生きがい支援 6. 認知症への理解を深めるための講座・研修会 7. 認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう認知症カフェの設置 8. 若年性認知症(65歳未満で認知症を発症)への支援

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40~64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
在宅医療について	あなたは、「在宅医療」について知っていますか。	問42	1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない	問48	1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない		1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない
	あなたには、健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけ医」がいますか。	問43	1. かかりつけ医がいる 2. かかりつけ医はいないが、行く医療機関はだいたい決まっている 3. かかりつけ医や決まって行く医療機関はない	問49	1. かかりつけ医がいる 2. かかりつけ医はいないが、行く医療機関はだいたい決まっている 3. かかりつけ医や決まって行く医療機関はない		1. かかりつけ医がいる 2. かかりつけ医はいないが、行く医療機関はだいたい決まっている 3. かかりつけ医や決まって行く医療機関はない
	あなたには、歯の状態を診てもらったり相談したりできる「かかりつけ歯科医」がいますか。	問44	1. かかりつけ歯科医がいる 2. かかりつけ歯科医はいないが、行く歯科医院はだいたい決まっている 3. かかりつけ歯科医や、決まって行く歯科医院はない	問50	1. かかりつけ歯科医がいる 2. かかりつけ歯科医はいないが、行く歯科医院はだいたい決まっている 3. かかりつけ歯科医や、決まって行く歯科医院はない		1. かかりつけ歯科医がいる 2. かかりつけ歯科医はいないが、行く歯科医院はだいたい決まっている 3. かかりつけ歯科医や、決まって行く歯科医院はない
	あなた自身が、高齢期に、医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか。また、ご家族が同様のとき、あなたはご家族にどこで過ごしてもらいたいか、お考えをお聞かせください。	問45	①から⑧で考えに近いものを、A:自身とB:家族それぞれ1つ選択 ① 自宅で医療や介護を受けて過ごす ② 子どもの家で医療や介護を受けて過ごす ③ 兄弟姉妹などの親族の家で医療や介護を受けて過ごす ④ 病院などの医療機関に入院して医療や介護を受けて過ごす ⑤ 特別養護老人ホームなどの介護保険の施設に入所して医療や介護を受けて過ごす ⑥ 民間の有料老人ホームなどに入所して医療や介護を受けて過ごす ⑦ よく分からない ⑧ その他()				①から⑧で考えに近いものを、A:自身とB:家族それぞれ1つ選択 ① 自宅で医療や介護を受けて過ごす ② 子どもの家で医療や介護を受けて過ごす ③ 兄弟姉妹などの親族の家で医療や介護を受けて過ごす ④ 病院などの医療機関に入院して医療や介護を受けて過ごす ⑤ 特別養護老人ホームなどの介護保険の施設に入所して医療や介護を受けて過ごす ⑥ 民間の有料老人ホームなどに入所して医療や介護を受けて過ごす ⑦ よく分からない ⑧ その他()
	あなた自身が、要介護度が重くなったり、仮に治る見込みがなく死期が迫っている状態となったとき、自宅(子どもの家や兄弟姉妹などの親族の家も含む)で最期まで過ごすことを希望しますか、また、実現可能だと思いますか。	問46	1. 希望するし、実現できると思う 2. 希望するが、実現は難しいと思う 3. 希望しない 4. 現在、在宅で医療・介護サービスを受けている 5. わからない 6. その他()	問51	1. 希望するし、実現できると思う 2. 希望するが、実現は難しいと思う 3. 希望しない 4. 現在、在宅で医療・介護サービスを受けている 5. わからない 6. その他()		1. 希望するし、実現できると思う 2. 希望するが、実現は難しいと思う 3. 希望しない 4. 現在、在宅で医療・介護サービスを受けている 5. わからない 6. その他()
	※「希望するし、実現できると思う」と回答された方におたずねします あなたが、自宅で最期まで過ごすことができると考える理由は何ですか。	問47	1. 介護してくれる家族がいる 2. 容態が急変した時の対応がわかっている 3. 経済的な負担が少ない 4. 往診してくれる医師がいる 5. 訪問看護・介護体制が整っている 6. 居住環境が整っている(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 7. 相談にのってくれるところがある 8. その他()	問52	1. 介護してくれる家族がいる 2. 容態が急変した時の対応がわかっている 3. 経済的な負担が少ない 4. 往診してくれる医師がいる 5. 訪問看護・介護体制が整っている 6. 居住環境が整っている(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 7. 相談にのってくれるところがある 8. その他()		1. 介護してくれる家族がいる 2. 容態が急変した時の対応がわかっている 3. 経済的な負担が少ない 4. 往診してくれる医師がいる 5. 訪問看護・介護体制が整っている 6. 居住環境が整っている(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 7. 相談にのってくれるところがある 8. その他()
	※「希望するが、実現は難しいと思う」「希望しない」と回答された方におたずねします あなたが、自宅で過ごすことを希望しない、または過ごすことが難しいと思う理由は何ですか。	問48	1. 介護してくれる家族がいない 2. 家族に負担がかかる 3. 病院に入院したり介護施設に入ったほうが安心できる(容態が急変した時の対応に不安がある) 4. 経済的に負担が大きい 5. 往診してくれる医師がいない 6. 訪問看護・介護体制が整っていない 7. 居住環境が整っていない(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 8. 相談にのってくれるところがない 9. その他()	問53	1. 介護してくれる家族がいない 2. 家族に負担がかかる 3. 病院に入院したり介護施設に入ったほうが安心できる(容態が急変した時の対応に不安がある) 4. 経済的に負担が大きい 5. 往診してくれる医師がいない 6. 訪問看護・介護体制が整っていない 7. 居住環境が整っていない(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 8. 相談にのってくれるところがない 9. その他()		1. 介護してくれる家族がいない 2. 家族に負担がかかる 3. 病院に入院したり介護施設に入ったほうが安心できる(容態が急変した時の対応に不安がある) 4. 経済的に負担が大きい 5. 往診してくれる医師がいない 6. 訪問看護・介護体制が整っていない 7. 居住環境が整っていない(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 8. 相談にのってくれるところがない 9. その他()
	今後、「在宅医療」や「在宅介護」が進むためには、どのようなことが必要だと思いますか。	問49	1. 市民向けの在宅医療・在宅介護についての情報提供 2. 相談窓口の充実 3. 在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携 4. 家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充 5. 24時間いつでも診てもらえる体制 6. 病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備 7. 高齢者が安心して住める住居の整備 8. 介護休暇など職場の理解とサポート体制の充実 9. その他()	問54	1. 市民向けの在宅医療・在宅介護についての情報提供 2. 相談窓口の充実 3. 在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携 4. 家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充 5. 24時間いつでも診てもらえる体制 6. 病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備 7. 高齢者が安心して住める住居の整備 8. 介護休暇など職場の理解とサポート体制の充実 9. その他()		1. 市民向けの在宅医療・在宅介護についての情報提供 2. 相談窓口の充実 3. 在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携 4. 家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充 5. 24時間いつでも診てもらえる体制 6. 病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備 7. 高齢者が安心して住める住居の整備 8. 介護休暇など職場の理解とサポート体制の充実 9. その他()

大項目	調査項目	高齢者等実態調査(40～64歳)		高齢者等実態調査(介護認定者)		介護予防日常生活圏域ニーズ調査	
		問	選択肢	問	選択肢	問	選択肢
介護保険制度や高齢者福祉サービスについて	あなたは社会保障や行政などの情報を何によって入手していますか。	問50	1. テレビ・ラジオ 2. インターネット 3. 新聞・雑誌 4. 広報「川越」 5. 市のホームページ 6. パンフレット・チラシ 7. 友人・知人・家族 8. その他()	問55	1. テレビ・ラジオ 2. インターネット 3. 新聞・雑誌 4. 広報「川越」 5. 市のホームページ 6. パンフレット・チラシ 7. 友人・知人・家族 8. その他()		1. テレビ・ラジオ 2. インターネット 3. 新聞・雑誌 4. 広報「川越」 5. 市のホームページ 6. パンフレット・チラシ 7. 友人・知人・家族 8. その他()
	介護保険料の基準額は、介護サービスをどれだけ利用したかによって決まります。そのため、介護施設が増えたり、介護サービスが充実するなどしてサービス利用が増えると、保険料も増加することとなります。このことを踏まえ、(今後、)負担する保険料と受けられる介護サービスのあり方について、あなたの考えに最も近いものは次のどれですか。	問51	1. 保険料などの負担が増えても介護サービスが充実しているほうがよい 2. 保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである 3. 介護サービスが多少抑えられても保険料などの負担を抑えるべきである 4. わからない	問58	① 負担している保険料について 1. とても負担である 2. やや負担である 3.それほど負担ではない 4. 負担とは思わない 5. 負担している金額がわからない ----- ② 受けられる介護サービスについて 1. 保険料などの負担が増えても介護サービスが充実しているほうがよい 2. 保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである 3. 介護サービスが多少抑えられても保険料などの負担を抑えるべきである 4. わからない		① 負担している保険料について 1. とても負担である 2. やや負担である 3.それほど負担ではない 4. 負担とは思わない 5. 負担している金額がわからない ----- ② 受けられる介護サービスについて 1. 保険料などの負担が増えても介護サービスが充実しているほうがよい 2. 保険料などの負担もサービスも現行水準を維持すべきである 3. 介護サービスが多少抑えられても保険料などの負担を抑えるべきである 4. わからない
	あなたは高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みを知っていますか。	問52	1. 日常生活自立支援事業 2. 成年後見制度 3. 市民後見人の活動 4. 高齢者虐待の通報・相談窓口 5. 法テラス 6. クーリングオフ制度	問56	1. 日常生活自立支援事業 2. 成年後見制度 3. 市民後見人の活動 4. 高齢者虐待の通報・相談窓口 5. 法テラス 6. クーリングオフ制度		1. 日常生活自立支援事業 2. 成年後見制度 3. 市民後見人の活動 4. 高齢者虐待の通報・相談窓口 5. 法テラス 6. クーリングオフ制度
	あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。	問53	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことがない 3. 知らない	問57	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことがない 3. 知らない		1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことがない 3. 知らない
	「介護保険制度」全体をよりよくするために、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。	問54	1. サービス事業者の質を高めること 2. ケアマネジャーの質を高めること 3. 介護人材を育成すること 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすこと 5. 利用者の費用負担を軽減すること 6. 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと 7. 家族介護の負担を軽減するデイサービスやショートステイなどのサービスを充実すること 8. 介護保険制度を使いやすいものにする 9. その他() 10. 特になし	問59	1. サービス事業者の質を高めること 2. ケアマネジャーの質を高めること 3. 介護人材を育成すること 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすこと 5. 利用者の費用負担を軽減すること 6. 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと 7. 家族介護の負担を軽減するデイサービスやショートステイなどのサービスを充実すること 8. 介護保険制度を使いやすいものにする 9. その他() 10. 特になし		1. サービス事業者の質を高めること 2. ケアマネジャーの質を高めること 3. 介護人材を育成すること 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設を増やすこと 5. 利用者の費用負担を軽減すること 6. 身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと 7. 家族介護の負担を軽減するデイサービスやショートステイなどのサービスを充実すること 8. 介護保険制度を使いやすいものにする 9. その他() 10. 特になし
今後、本市が取り組むべき高齢者施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。	問55	1. 介護予防に関する取り組みの充実 2. 地域・近隣の支えあい活動など、地域全体で介護を支援する基盤づくり 3. 地域での交流の場や生きがいづくりの場の充実 4. 高齢者の就労対策の充実 5. 外出しやすいまちづくり(高齢者の外出支援策を含む) 6. 健康の増進、趣味や教養向上などのプログラムの充実 7. ボランティアなど地域活動参加の促進や支援 8. 身近なところで相談が行える相談窓口の充実 9. 高齢者の住宅施策を充実すること 10. 認知症高齢者への支援を充実すること 11. 家族介護者の支援策を充実すること 12. 地域包括支援センターを充実すること 13. 健康診査・がん検診などの保健医療サービスの充実 14. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実 15. その他(具体的に:)	問60	1. 介護予防に関する取り組みの充実 2. 地域・近隣の支えあい活動など、地域全体で介護を支援する基盤づくり 3. 地域での交流の場や生きがいづくりの場の充実 4. 高齢者の就労対策の充実 5. 外出しやすいまちづくり(高齢者の外出支援策を含む) 6. 健康の増進、趣味や教養向上などのプログラムの充実 7. ボランティアなど地域活動参加の促進や支援 8. 身近なところで相談が行える相談窓口の充実 9. 高齢者の住宅施策を充実すること 10. 認知症高齢者への支援を充実すること 11. 家族介護者の支援策を充実すること 12. 地域包括支援センターを充実すること 13. 健康診査・がん検診などの保健医療サービスの充実 14. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実 15. その他(具体的に:)		1. 介護予防に関する取り組みの充実 2. 地域・近隣の支えあい活動など、地域全体で介護を支援する基盤づくり 3. 地域での交流の場や生きがいづくりの場の充実 4. 高齢者の就労対策の充実 5. 外出しやすいまちづくり(高齢者の外出支援策を含む) 6. 健康の増進、趣味や教養向上などのプログラムの充実 7. ボランティアなど地域活動参加の促進や支援 8. 身近なところで相談が行える相談窓口の充実 9. 高齢者の住宅施策を充実すること 10. 認知症高齢者への支援を充実すること 11. 家族介護者の支援策を充実すること 12. 地域包括支援センターを充実すること 13. 健康診査・がん検診などの保健医療サービスの充実 14. 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内の充実 15. その他(具体的に:)	